

令和8年度 東郷町立東郷小学校 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和8年6月9日（火）

10時00分から11時50分まで

場所：東郷町立東郷小学校

1 開会の言葉（進行：教頭）

東郷小学校教頭：佐藤先生より開会の言葉

2 校長あいさつ

東郷小学校校長：加藤先生よりあいさつ

3 自己紹介及び東郷小学校運営協議会の概要説明について

・自己紹介

委員および事務局職員が、それぞれの立場から自己紹介を行った。

・運営協議会の概要説明について

事務局より、コミュニティ・スクールの仕組みや意義について説明を行った。

特に、学校運営方針を承認する役割（＝「方針を理解して、一緒にやろう」という合意形成）や、地域と共にある学校づくりについて解説がなされた。

4 議事

(1) 会長、副会長の選出について

全会一致で会長に小野田 耕治氏、副会長に酒井 賢一氏が選出された。

(2) 令和8年度の学校運営方針承認について

校長より、教育目標「明るく賢くたくましく」の実現に向けた方針、および働き方改革を推進するための教員業務の見直し案について説明があり、承認された。

(3) 東郷小学校の地域とかかわる事業の計画及び課題等について

以下の通り協議が行われた。

ア 昨年度の活動実績の共有

昨年度はボランティアによる「昔遊び」「おこしもの作り」「そろばん」の指導が行われた。

子どもたちからは「大人と活動したい」という意欲的な声が多く、地域の人々との触れ合いが教育効果を高めていることが報告された。

イ 今年度の活動方針と課題

学校より、昨年度の活動を継続しつつ、特に下校時の見守りについて地域の力添えがほしいと話があった。

通学路として指定している道について見直す必要があるとの意見が出たほか、「子ども達が安全に学校に通うために、大人に何ができるか」が話し合われた。北山台自治会での警察への要望活動を例に、地域と学校が連携し、データを活用して警察や町へ働きかけることで、通学路の安全確保を目指していったらどうか、ノウハウの共有をしていこうとの話となった。

ウ 防災と東郷の文化継承に関する議論

学校では避難訓練を行っているが、その先がどうなるのか考えたいとの話があった。

南海トラフ地震を見据え、教員・地域で避難所運営ゲーム（HUG）を実施して、地域と学校の連携シミュレーションをしてはどうかとの提案があり、実施することとなった。（臨時会を開くことになることを事務局より連絡済み）

また、東郷音頭や盆踊りの体験活動を通じて、子どもたちが地域の文化に触れ、地域を愛する心を育む場をつくることについても前向きな合意がなされた。

併せて、東郷はボートの町であることから、他の小学校のように授業で体験してみてもどうかとの提案があった。

エ 地域との調整・安全対策について

活動実施に伴う近隣への配慮（騒音や駐車問題など）について、自治会や地域住民への丁寧な事前周知や挨拶を徹底することが重要であるとの意見が出された。

5 令和8年度東郷町コミュニティスクール全体研修会について

事務局より8月21日に開催される全体研修会について案内を行った。